

令和4年度

2023.1.19

さくらさくみらい保育園年長児保護者会

～保護者の皆様からの質問に答えて～

中根橋小学校 校長

**Q: 朝起きるのが苦手です。遅刻した場合
どうしたらよいでしょうか。**

A: 1年生の最初に遅刻してくる子はほとんどいません。それは、どの子も1年生になって張り切っているからです。小学生になった喜びがあるのです。この時期に生活習慣を軌道に乗せてあげることが大切です。

遅刻すると1日の学校生活に出遅れることになります。そうすると気後れして学校に行くのが嫌になってしまうこともあります。そのため、7時までには起きたいものです。朝早く起きるには、早く寝ることが大切だと思います。そのための習慣ができるように家庭全体で生活時間を早くするとよいと思います。親も早く寝るようにして、朝型にしていくと自然とゆとりが生まれます。親自身がスマホやネットから少し離れ、子供に寄り添った時間を過ごす、お子さんにとって朝がつらくなくなると思います。

しかし、遅刻することもあると思います。どの学校でも遅刻や早退するときには、保護者に必ず教室まで送ることやお迎えをお願いしています。

**Q: 食事がすごく偏食です。給食はどの
くらい食べればよいですか？**

A: 絶対にこれだけ食べなければいけないということはありません。昔のように全部

食べさせるようなことは、どの学校でもやっていません。

何でも食べる子はたくましく、学校生活に意欲的な傾向があります。不思議なもので食べ物好き嫌いがない子は、人の好き嫌いもない傾向があります。

少しでもよいですから食べる努力をしたことをご家庭でもほめてください。学校の給食はいろいろな食べ物に出会うチャンスです。食わず嫌いなこともありますから、まずは食べてみる、体に入れてみることであれば、少しずつ何でも食べられるようになっていきます。人間はバランスが大事です。多様なものを受け入れることで世界が広がっていきます。しかし、嫌いなものがあったとしても、それはそれでよいと思っています。「食べられないと学校で叱られる。」などとは、くれぐれもおっしゃらないでください。どうぞ宜しくお願いします。

Q: まだ自分の名前がうまく書けません。入学前までにどの程度書けていればよいですか。

A: 自分の名前が読めて書けるだけで十分です。お子さんなりに必死に頑張って自分の名前を書いているわけですから、それを褒めてあげてください。少しずつ練習をして形の整った自分の名前が書ければ、それで大丈夫です。形をとることは結構難しいです。きれいに書くことを要求すると、自

信をなくしてしまうお子さんもいます。勉強が嫌いになってしまうのは、残念なことです。学校では1年生の指導はゆっくり丁寧に時間をかけています。どうぞご心配をなさらないでください。

Q: 新しい友達とうまく関わっていけるかが不安です。入学当初に友達とコミュニケーションを取れるような活動等をどのように行っていますか。

A: 保護者の皆様の関心事は新しい友達ができるかということだと思います。小学校に入るとクラスの人数は多くなります。しかし、クラスのみんなとお友達になることは不可能です。ですから一人でも二人でも、家でお友達の名前が出てきたら、褒めてあげてください。それはお子さんが学校でお友達とのかかわりができているからです。

1年生の初期の指導は学校に慣れるということから始めます。例えば、あいさつ、着替え、返事の仕方などです。そういう基本的な生活習慣や人との関わり方を丁寧に指導していきます。小1プロブレムの解決のためにスタートカリキュラムを行っています。これは入学間もない1年生に対して、授業時間を半分に区切って、一つ一つステップを追ってできることを増やしていきます。内容は学年だよりでお知らせをします。

また、異学年交流など、多様なかかわりの場も設定して、遊びなどの活動を通してコミュニケーション力を高めるようにしています。

Q: 小学校の通知表の成績をつける上でどのような観点で子供たちを評価していますか。相対評価ではなく、絶対評価となっ

ているようですが、どのようなポイントで見ているのか、家庭でも子どもへの声かけをするうえで注意しておきたいので教えてください。

A: まず、相対評価と絶対評価についてお話をします。絶対評価というのは教科の目標に到達すれば、「よい」という評価になります。とてもよくできた場合には、「大変よい」です。もし目標に到達できていないときは「もう少し」という評価になります。多くの小学校では、3段階評価です。ただし、1年生の最初の通知表は2段階で、「よい」・「もう少し」の2段階評価です。そして、ほとんどのお子さんは「よい」に印がついています。

次に通知表をつける観点ですが、点数だけではなく学習に対する意欲も評価しています。ノートをきちんと書いている、提出物、発言などの関心・意欲は評価の大切なポイントとなっています。やる気が大切です。やる気があれば、たいていのことはできるようになります。

学校は学び方を学ぶところです。大人になっても学び続けていくことが大切です。何をどのように学ぶか、そして、意欲・関心の高め方、学びの方法を身に付けるところが学校です。今の日本の教育は主体的な学びの姿勢、友達と協働する学びに重点が置かれています。ご家庭でも点数ではなく学びに対する姿勢を大切にしたいです。基本的な生活習慣や学ぶ姿勢が学力を下支えしていることは言うまでもありません。

Q: 放課後の過ごし方について……

1年生でも一人で公園などに行かせても大丈夫なのか、また、友達と約束してきても保護者と連絡を取れる関係でないと、子

供同士に任せたままでも良いのか不安に思います。どのような対応をすればよいでしょうか。

A: 中根橋小学校の1年生の多くは、学童クラブのあいキッズに入っているお子さんが多いです。ですから平日に1年生の子が公園で遊ぶことはほとんどないと思います。学校が休みの日に、親子で公園へ行き、中根橋小学校の子供と出会えるとよいと思います。一緒に遊び、保護者同士で親しくなると自然と連絡先の交換ができると思います。

まれに1年生のご家庭から、学校に「子供が帰ってこない。」という電話がかかってくる場合があります。探してみると友達と遊んでいることが多いです。ですから親しい友達の保護者とは連絡がとれるとよいと思います。

子供にとって友達はとても大事な存在です。お子さんのお友達を我が子と同じように大切にすると、相手のご家庭の親御さんも自分のお子さんを大切にしてくれます。

Q: 小学校へ行くにあたり、入学前に家庭で取り組んだ方がよいことはありますか。

A: 絵本の読み聞かせです。学校では授業を含め言葉でのやり取りが多くなります。人は言葉で伝え、言葉で考え、言葉で表現します。もっている言葉が少ないと学習で苦戦することになりますし、コミュニケーションで不自由することにもなります。自分の思いを適切な言葉にすることができずに、トラブルになることもしばしば見られます。お子さんにどれだけの言葉をもたせてあげられるかが大切となります。

そのために、10分でも絵本を読んであげて欲しいです。また、大人の会話も聞かせてあげてください。買いものに連れて行

き、大人同士の言葉のやり取りを通して言葉を獲得させることも効果があります。ゲームやYouTubeなどから流れるのではない、生の言葉にたくさん触れさせて欲しいと願っています。

Q: 担任の先生に学校での様子や相談事などをお話できる機会はどのくらいありますか。

A: ご相談はいつでも結構です。連絡帳や電話でその旨をお伝えください。また、夏休みに入ってすぐと11月下旬に個人面談を予定しています。また、学期に1回程度の保護者会でも担任と話すことができます。（*令和5年度より、個人面談は7月と12月の年2回となりました。）

1年生の親ならば、学校の様子を知りたいと思います。お子さんに聞いてみるのもよいですが、「忘れた。」と言って話したがないお子さんもいます。年間8回の土曜授業プランでは、授業参観もありますし、運動会などの学校行事もあります。（*令和7年度より、土曜授業プランは年3回となりました。）

また、ボランティアなどの活動を通して、お子さんや学校の様子を直接知ることできます。学校のホームページでは、こまめに学校の様子をお伝えしていますので、是非、アクセスしてください。

学校に足を運ぶとお子さんの素敵な面を発見できます。是非、学校においでください。